

数的理解

第2回：損益算

米田亮介

2021年10月6日

問題1

あるスーパーでは、定価で販売すると、原価の4割の利益が得られるように価格設定を行っている。定価560円の商品を1割引で販売した場合の利益はいくらか。

答え。定価は原価の $1 + 0.4 = 1.4$ 倍であるから、原価は

$$560 \div 1.4 = 400(\text{円})$$

である。また、定価の1割引で販売した売値は

$$560 \times (1 - 0.1) = 504(\text{円})$$

である。利益は売値から原価を引いたものであるから、

$$504 - 400 = \underline{104}(\text{円})$$

と求められる。

問題2

ある商品を定価の20%引で販売して、そのときの利益が原価の8%になるようにしたい。定価が270円だとすると、そのときの原価はいくらか。

答え。定価が270円の場合、20%引の値段は

$$270 \times (1 - 0.2) = 216(\text{円})$$

である。この売値による利益が原価の8%である。つまり売値は原価の $1 + 0.08 = 1.08$ 倍となるから、原価は

$$216 \div 1.08 = \underline{200}(\text{円})$$

である。

問題 3

ある商品を仕入れ値に 4 割の利益を乗せて定価とした。定価から 15 % 割引して販売した場合、仕入れ値の何 % の利益が見込めるか。

答え。仕入れ値の値段がわからないので、とりあえず x (円) と置いてみよう。定価は仕入れ値に 4 割の利益を乗せるので、

$$x \times (1 + 0.4) = 1.4x(\text{円})$$

である。ここから 15 % の割引を行って販売を行うので、最終的な販売された値段は

$$1.4x \times (1 - 0.15) = 1.19x(\text{円})$$

である。これより利益は仕入れ値から引いた

$$1.19x - x = 0.19x(\text{円})$$

である。これより仕入れ値に対する利益の割合は

$$0.19x \div x = 0.19$$

であり、% 表記に直すと、19 %となる。

コメント

今回の授業では割合の計算の応用として損益算の計算を行いました。割合の計算がスムーズでないとどのように計算すればいいかわからなくなってしまいます。しっかりと復習しておきましょう。また、損益算の計算ではたまに文字が入った方程式を解かないと行けない場合があります。方程式を具体的に解く方法については前回の授業の最後に少し補講のような形で説明しました。まだわからない、もしくは説明を聞けなかったけどわからないところがある、という方はぜひ質問してください。